

湖北

長浜市は、地域の魅力を広く発信するため「広報ながはま」



最優秀作品が表紙に掲載される「広報ながはま」

ま表紙争奪」と題したインスタグラムフォトコンテストを実施している。長浜の魅力を撮影した写真を募り、最優秀作品は市の広報紙「広報ながはま」3月号の表紙写真として採用される。

応募作品は「2020年1月以降に長浜市内で応募者本人が撮影した写真」。募集期間は2021年1月24日まで。応募方法は①スマートフォンで写真共有アプリ「インスタグラム」をダウンロードし

て市の公式アカウント「nagahama-city」の「Pen」をフォロー②撮影した写真を「#広報ながはま表紙争奪」と「#みんなのちよびつく」の両方のハッシュタグと撮影場所が分かるコメントもしくはハッシュタグを付けて投稿する。

選考結果は「広報ながはま」3月号などで発表。問い合わせは長浜市市民広報課（0749・65・6504）。

【長浜通信部・若本和夫】

長浜

広報紙の表紙を飾ろう！ 市がインスタ・フォトコン

長浜城築城の謎を解け！ 体験型ゲームイベント開催中

長浜



「歴史リアル謎解きゲーム」のポスター＝長浜観光協会提供

11月24日、12月2～4日、12月15日～2021年1月3日、2月8～10日は休催日。問い合わせは長浜観光協会（0749・65・6521）。

【長浜通信部・若本和夫】

長浜観光協会は2021年3月31日まで、街歩きを楽しむながら謎を解く体験型イベント「歴史リアル謎解きゲーム『謎の城』in長浜城」天下の出世城」湖畔を臨む始まりの城下町」を開催している。

参加受け付けは午前9時15分から午後2時まで、JR長浜駅改札口近くの観光案内所

で。参加費は2500円。参加者は長浜城築城にまつわる謎の問題が記された「謎解きキット」と観光施設や飲食店での特典がある「長浜浪漫パスポート」を受け取り、長浜城を築城した羽柴秀吉ゆかりの場所を徒歩で巡って、謎を解いていく。ゲームをクリアした人には抽選で特産品などの賞品が贈られる。

湖東

彦根

三成公の御朱印 千代神社が作成

国重要文化財の本殿で知られる千代神社（彦根市京町、布施博章宮司）は「石田三成公墨絵御朱印」を作成した。

芸能の神様をまつる千代神社は元来、石田三成が城を構えた佐和山のふもとにあったという。今年は関ヶ原合戦（1600年）と同じ庚子にあたるため、遺徳をしのぐこの御朱印を企画した。国際的に活躍する墨絵師、御歌頭氏が迫力ある三成の姿を描いた。サイズは縦17・7センチ、横

11・8センチ。図柄は2種類でそれぞれ「金箔押し」と「銀箔押し」のバージョンがある。壁につり下げたり、デスク上に立てて飾ることができる。1枚1000円で入手できる。

また三成をあしらったA4サイズのクリアファイル（500円）も作成した。問い合わせは同神社（0749・22・1237）へ。

【彦根通信部・伊藤信司】



石田三成が墨絵で描かれた御朱印

E V にラッピング 彦根城運営管理センター

彦根

国宝・彦根城運営管理センター（彦根市金亀町）は、トヨタ車体（愛知県刈谷市）からデモカーとして借りている超小型EV（電気自動車）2台に、ラッピングを施した。1台は彦根藩の武具をイメージした「井伊の赤備え」。赤黒ツートンの車体に黄色いストライプを入れた。もう1台には白い車体の上部を赤と黄でペイントし、前面に鈴も描いて彦根のゆるキャラ「ひこにゃん」をイメージした。

トヨタ車体のホームページによると全長約2・4メートル、幅約1・1メートル。6時間ほどで充電が完了する。最高速度は60キロ。最小回転半径は3・2



彦根城ゆかりのラッピングを施した超小型EV

で、狭い路地でも楽に通りがけられる。主に彦根城表門で展示し、センター職員の市内移動用としても活用している。【彦根通信部・伊藤信司】